

さくらがわ

市議会
だより



令和8年2月1日
(2026年)



当市ホームページの
市議会情報ページへ
アクセスできます。



令和7年第4回定例会

一般議案についての審議 2P
傍聴のご案内

7名の一般質問 3～6P

視察研修レポート 7P
「総務常任委員会

長生郡市広域市町村圏
組合議会視察来庁 8P
岩瀬小 町たんけん・編集後記

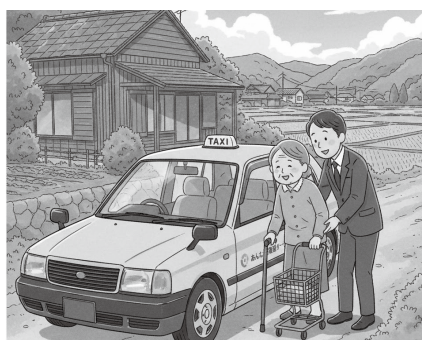


亀熊大橋
桜川市真壁町亀熊

石灯笼の欄干が印象的な橋。
下流では治水のための護岸工事が
進められている。

一般議案に対する 議案審議

令和7年第4回定例会は12月9日から12日まで開催され、多岐にわたり審議が行われました。その中から、主な質疑を掲載します。



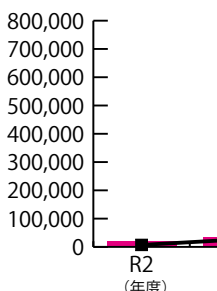
利用者の方々から助成券拡充のご要望があること、年度末に駆け込み的な利用が発生していること、助成券の不正利用の可能性が監査で指摘されていることなどを踏まえ、令和8年度から事業の一部見直しを行う予定です。

問 タクシー運賃助成事業の増額理由の詳細と、助成券利用方法の課題について伺う。

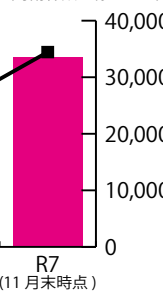
答 タクシー運賃助成券の申込者数は、令和6年度で1,777名であったのに対し、令和7年度は11月末で2,250名と増加しており、それに伴い支出も増額しております。

タクシー運賃助成事業

(寄附金額(千円)・棒グラフ)



(寄附件数・線グラフ)



過去5年間のふるさと応援寄附金額・寄附件数の推移

問 ふるさと応援寄附金による基金積立額が3億円の増額補正となっている。令和7年度寄附金の総額はいくらになる予定か。

答 11月末現在の寄附額が6億7,100万円を超えていることから、年度末寄附額を8億円と見込んでいます。

ふるさと応援基金積立金増額補正について

桜川市議会を傍聴してみませんか？

市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してみませんか。

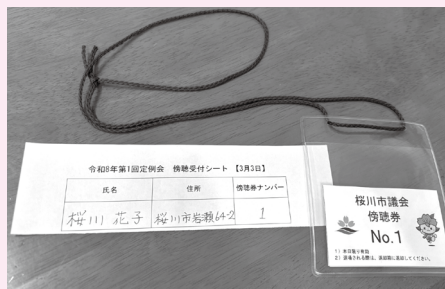
受付場所：市役所岩瀬庁舎 第2庁舎3階

【受付手順】

- ①傍聴券(首掛け)を受け取る
- ②傍聴人受付シートを記載し、回収箱に入れる
- ③傍聴券を首から下げて、傍聴席へ
- ④退場時、傍聴券を返却する



◀傍聴席からの眺め



◀傍聴券・受付シート

企業誘致について



武井久司 議員

問

日本の地域の特性を生かす地方創生政策の一環として整備された、地域未来投資促進法を活用した企業誘致について伺う。

答

総合戦略部長
地域未来投資促進法は、国の基本方針に基づいた地域経済率引事業計画において、施設の新設、増設等の設備・構築物の取得等に対し特別償却または法人税の税額控除をされるものです。

桜川市においては、現在まで事業者からの事業計画が提出された

答

建設部長 市道は総延長1,505km、6,414路線が認定されており、必要性や緊急性、事業の効率などを判断、企業の進出動向、観光客の動態を調査し整備を検討しています。

今後、高齢化などにより農業人口が減少し、農地が集約され、大型機械による経営が進むと予想されるので、農道の拡幅、改良工事及び退避場所の設置を進めていきます。

また、行政サービス効率化を目的とした施設の改編を前提として、集約化が図られていきます。集約された公共施設エリア周辺の道路整備には、莫大な費用と膨大な時間がかかるので、既存の幹線道路などを活用した道路整備を進めていきます。

問

市の道路整備計画について

市道の道路整備は、産業活性化や観光地化、新しい農業経営、また、行政サービスの効率化を目的とし、施設の改編を前提とした整備が必要と思う。計画について伺う。

その他の質問

・気候変動による自然災害の対策について

市長選挙での2氏の異議申し立て



菊池伸浩 議員

問

令和7年10月の市長選挙の開票結果に、2氏が異議申し立てをしました。議員選挙では何回か、「異議申し立て」を見かけます。桜川市でも、私

が知るかぎりでは、いつもの方を除いて、1回ありました。しかし、首長選挙ではめったに見かけません。

選挙は、市職員全員で取り組む、2,000万円近くかかる大きなイベントです。厳正な選挙に、「異議申し立て」をするからには、それ相応な問題があった場合にするもの

と、私は考えています。

2人のうち、1人は毎回と言えるほど、「異議申し立て」をしている方で、開票立会人がいない方です。多くの場合で、供託金没収となっていますから、例外と考えます。

もう一人の方は、市議会議員を4期もやり、開票立会人もいて、印鑑も押しています。開票に異議を出す理由がないと、考えていました。開票結果に異議を申し立てたとすれば、自分が依頼した開票立会人に失礼です。異議申し立ての内容について伺います。

また、選挙管理委員会の判断を伺います。

答

総務部長 開票立会人が附票

(100枚ごとの票の束の表紙)に印を押す意味は、立会人が開票結果の検査や確認に関与し、同意したことを意味します。回付の際、異議や疑問がある場合、押印を拒否することも可能です。

異議申し立ての内容は、高橋氏は、「開票会場での撮影禁止や選挙立会人の職務執行」に関することです。榎戸氏は、「投票用紙の点検や選挙公報などの啓発」についてです。12月5日の選挙管理委員会では、「当選を無効にする理由がない」として棄却しています。



認定こども園の再編



飯島洋省 議員

問

市所有の認定こども園は、建築から相当年数が経過し、耐震性、バリアフリー、雨漏りや空調、衛生設備をはじめ、多くの面で老朽化が進んでいきます。施設の現状と課題について伺う。

答

保健福祉部長 岩瀬認定こども園は、竣工し48年が経過、岩瀬東部認定こども園は、竣工し38年が経過した施設となります。施設修繕を行いながら、安全性を確保する必要がありますが、令和6年度の修繕費を含めた維持管理費は、合わせ

て年間約730万円程度と伺っております。

やまと認定こども園は、昭和49年に竣工、50年以上が経過し、市の公共施設計画においては、継続的に維持管理、修繕を行い、長寿命化を推進する必要があると評価されています。

問

3つの園をそれぞれ単独で維持改修し続けるには、財政負担、維持管理負担両面から持続可能とは言えず、これからの時代の子育て支援ニーズに答えることは難しく、また、保育士確保や働き方改革への逆行、子育て世帯の転入促進に不利な状況をつくること、市が掲げる将来の学校再編との整合性が取れないといった課題も考えられます。

答

保健福祉部長 認定こども園の再編は避けられないテーマであり、将来的な園児数の減少を考えると、複数園を統合し、より充実した施設を整備することが合理的と考えるが、市の見解を伺います。

教育保育施設の統合、移設の可能性は、将来の人口動向や保育ニーズ、施設の維持管理を考慮し、適正な集団規模による就学前の教育・保育が受けられる環境整備と学校適正化に向けた議論に配慮するなど、複数の要素を慎重に検討する必要があります。市子ども・子育て会議における協議や関係機関と連携し、持続可能な環境整備に努めてまいります。

その他の質問

- ・移住対策の桜川市版住宅プロジェクト
- ・放課後児童クラブの保護者ニーズへの対応
- ・ハンスオン支援モデル地区の内容と取り組み

高校生の

通学支援について



市村 香 議員

問

生徒の個性を生かす学校を目指すため、最近の高校生の通学先は幅広く多岐にわたる。桜川市の高校生も、遠距離通学する生徒が増えている。

つくば市や他自治体では、遠距離通学している高校生に支援を始めているが、桜川市でも高校生の遠距離通学支援事業を実施する見通しはあるのか伺う。

答

市長公室長 つくば市は通学方法に関わらず、6キロ以上の通学に対して年額3万円を支給、城里町は最大12万円の助成

をしているという具体例があります。大子町では、地域の高校を存続させるために、大子清流高校に通学する生徒に対し、定期券の半額程度、年間最大3万円を支給している状況です。

問

桜川市の高校生の通学支援については、総合的に判断し、高校生に本市に住み続けてもらえよう、費用対効果を含め、支援体制を検討したいと考えます。

桜川市の有機農業について

農林水産省では、2030年までに200市町村のオーガニックビレッジ創出を目標に、全国各地での産地づくりを推進している。前回の質問以

答

経済部長 常陸大宮市をはじめとして、笠間市、かすみがうら市、石岡市がオーガニックビレッジ宣言を行っており、有機農業に地域ぐるみで取り組む産地が増えてきている状況です。

これからの方向性につきましても、引き続き、北つくば農協地域農業振興協議会を中心とした関係団体及び近隣自治体と連携を図り、荒廃農地や中山間地などの活用も視野に入れつつ、市内生産者に対し周知及び啓発を行いながら、宣言の可否について検討していければと考えています。

その他の質問

- ・東京直結鉄道（地下鉄8号）茨城県誘致促進協議会の現在の状況について

タクシー運賃 助成事業について



萩原剛志 議員

問 今後のタクシー運賃助成制度の維持や拡充、見直しの方向性についてどのようになっているのか。

答 建設部長 タクシー運賃助成事業については、利用者の方々から助成券拡充の要望があることや、年度末に駆け込み的な利用が発生していること、監査委員から助成券の不正利用の可能性が指摘されていることなどを踏まえ、令和8年度から事業の一部見直しを行う予定です。

利用者1人当たり支給する助成券の枚

数を現行の60枚（3万円）から80枚（4万円）に拡充すること、タクシー乗車1回につき利用できる助成券の枚数を10枚（5,000円分）までとすること、タクシー乗車1回ごとに利用者に対して助成券への署名を求めることとの3点を骨子として手続を進めているところです。

問 山形県長井市では、バスの乗降データの収集方法として、RFIDつき定期券やタブレットにより市営バスの乗降データをクラウドに収集し、ダイヤ改正や路線再編に活用している。RFIDは、ユニクロの商品の値札にも組み込まれており、セルフレジ

での一括会計や効率的な在庫管理を実現している。

桜川市としてもタクシー運賃助成事業や市バスヤマザクラGOの見直しに当たり、このようなデータ収集方法の仕組みを検討してはどうか。

答 建設部長 効率的な地域公共交通を実現するには、変容する社会構造に対応するための不断の見直しと、その前提となる緻密なデータの収集解析が不可欠です。

市の行財政状況から、全ての先進技術を取り入れることは難しいかもしれませんが、引き続き先進事例の収集等に努めてまいりたいと考えております。

その他の質問
・防災士資格取得への助成制度について
・し尿処理について
・RSウイルスワクチンの定期接種について

DX先進自治体への 取り組みについて



川股 隆 議員

問 新庁舎に向けてAI等を活用したDX先進自治体となるよう、DX推進室を立ち上げるべきではないか。

答 市長公室長 新庁舎に向けての組織の具体的なあり方は未定ですが、組織や職員数などを総合的に勘案し検討します。

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）…ITやAI（人工知能）を使った仕事、組織の変革のこと。

長方地区の商業開発と財政負担について

問 長方地区の商業開発は、ベシアが出るならば道の駅は必要ない。市有地1・2ヘクタールの直売所等用地を除き、今後の財政負担はないと考えてよいのか。

答 総合戦略部長 例外的な財政負担を伴う計画がある場合には、十分に説明することをお前提に進めていきます。

営利企業への従事許可について

問 令和4年8月に、営利企業であるクラセル桜川への従事許可をヤマザクラ課長

に出している。地方公務員法で利害関係がある場合は許可できないが、1,500万円の補助金を出しており、利害関係にあるのではないのか。

答 総合戦略部長 課長は補助金の最終決定者ではないので、利益相反には当たらないと考えます。

地域ネコ対策について

問 申請者などボランティアに頼っているが、市の支援策が必要ではないか。

答 市民生活部長 要綱等をつくり、「公益財団法人どうぶつ基金」と市が協働して、申請者の負担がな

く不妊手術ができるようにしていきたい。

その他の質問
・誤請求に係る再発防止策検討委員会の再開について

『さくらす』への市民要望



林 悦子 議員

問

『さくらす』の開放的、都会的空間は、子育て世代や学生などに好評な一方で、その使い勝手に戸惑いの声もある。市は、市民の要望について把握しているか。

答

教育部長 『さくらす』は、民間の指定管理者に運営を委託しています。苦情、要望の対応については毎月の定例会で市と共有しています。

問

1階の調理スペースがある『クリエイティブハブ』の活用について、女性

答

団体の活動等で大人数が一度に料理することはできないのか。

答

教育部長 ここは、調理の他に『学びと交流の場』として、手芸などもの作り・ワークショップ・読書体験など、多目的に使える協働の場と考えています。

問

ガラス張りの部屋には、プライバシー保護のロールカーテンなど必要と思うかがかか。

答

教育部長 「市民活動の境界をなくす」という施

市民音楽コンサートへの支援について

問

他市では、市民コンサートは市主催で行っている。桜川市では、文化協会主催だが、音楽コンサートの資金は30万円、他市と比べて著しく見劣りし、文化格差が心配される。

答

教育部長 他市の実情を踏まえ、補助金増額・入場料徴収等、検討してまいります。



審議された議案と結果 第4回定例会 (12月9日～12月12日)

条例の制定・改正	
桜川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決
電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
桜川市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
補正予算	
一般会計補正予算（第5号）	可決
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	可決
水道事業会計補正予算（第3号）	可決
下水道事業会計補正予算（第3号）	可決

人事・その他	
選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	決定
監査委員の選任について	同意
和解及び損害賠償の額を定めることの専決処分事項の報告について	報告
財産の取得について（令和7年度桜川市立小中義務教育学校照明LED構築及び賃貸借）	可決
指定管理者の指定について	可決
指定管理者の指定について	可決
桜川市道路線の廃止について	可決
桜川市道路線の認定について	可決
請願	
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採択
令和2年改正・公益通報者保護法に基づく『通報窓口設置』・『通報対応体制の確立』・『計画的な職員研修の実施』を桜川市行政に求める請願	趣旨採択
議員提出議案	
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	可決



総務常任委員会視察研修レポート

委員長 飯島洋省

委員 林 悦子・仁平 実・萩原 剛志

視察日 令和7年10月28日(火)～10月30日(木)

視察先 広島県 東広島市、大崎上島町、広島市

100% 再資源化を目指すごみ処理施設

東広島市の「広島中央エコパーク」を視察しました。ここでは、最新の溶融炉により可燃ごみを全て再資源化し、埋め立て処分は行っていません。燃焼熱を利用した全電力の自給や売電も行っている取り組みの一方で、再資源化にあたっては環境配慮に伴うコスト増が課題として共有されました。

また、剪定枝をチップ状に加工し燃料化する車両の無料貸し出しも行われているということでした。

脱炭素社会を拓く次世代のエネルギー

大崎上島町では「大崎クールジェン(株)」を訪問しました。石炭をガス化して高効率で発電し、従来型石炭火力発電よりCO₂を90%以上削減できるとともに、高濃度水素ガスを含む燃料ガスを生成し、これらを用いた複合発電を行っています。

将来の脱炭素社会の切り札とされる「水素」生成技術やCO₂貯留の重要性を確認し、本市でも共同宣言している「ゼロカーボンシティ」実現に向けた企業誘致や技術確立の必要性を実感しました。



(写真・上) 大崎上島町 大崎クールジェン

右奥に見えるのが酸素吹き石炭ガス化炉。

(写真・右) 広島市中工場2階「エコリアム」は

Ecology+Atriumの造語のとおり

ゴミ処理施設とは思えない開放感。

見せる焼却場 広島市中工場

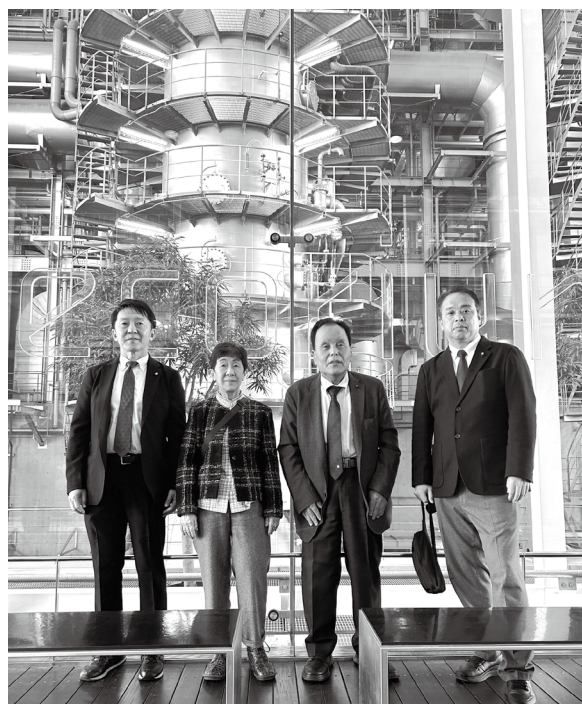
広島市の「中工場」では、複数の施設が連携して災害時でも安定稼働できる体制を学びました。広島市では7か国語対応のごみ分別チラシを作成し、市民のゴミ出しマナーと資源率向上に努めています。

全国的に問題になっているリチウムイオン電池の火災対策としても、市民への周知徹底に努めているとのことです。コストを抑えつつ、市民の協力のもとで高い資源化率を維持する手法は当市にとっても有益と考えます。

豪雨災害の教訓を次世代へつなぐ

「広島市豪雨災害伝承館」では、平成26年の甚大な被害と復興の歩みを調査しました。

被災地の復興整備の経緯に加え、心のケアにあたる専門チーム(DPAT)の活動や、教訓を風化させない展示のあり方を学びました。同館は「NIPPON防災資産」にも認定されています。



10月20日 長生郡市広域市町村圏組合議会視察受け入れ



千葉県茂原市をはじめ、7市町で構成される長生郡市広域市町村圏組合議会が、さくらがわ地域医療センターに視察に訪れました。

長生郡市広域市町村圏組合議会が運営する「公立長生病院」の再編統合にあたり、公立・私立病院の再編統合を経験した桜川市の事例について、健康推進課から説明を受けました。

質疑応答では、病院再編統合に際して市民からどのような意見が出たのか、建設に係る財源について、旧病院に勤務していた職員の処遇についてなど、たくさんのご質問があり、研修後は病院内の見学を行いました。

11月17日 岩瀬小学校 町たんけん



岩瀬小学校の2年生7名が「町たんけん」の活動で桜川市役所岩瀬庁舎を訪れました。

議場では、市議会事務局の職員から議会について説明を受けながら、議長の席に座ったり、傍聴席を見学したりしました。

普段なかなか見ることのない議場に少し緊張しながらも、「議会は、1回でどのくらいの長さ話し合いをするのですか」などの質問がありました。

岩瀬小学校2年生のみなさん、またぜひ議会にいらしてください。

編集後記

明けまして、おめでとうございます。

今号は、去る12月定例会での各議員の一般質問を中心に、市民の皆様から関心の高いタクシー運賃助成についての議論の様子などをお伝えしました。

日頃、型苦しいイメージを持たれがちな議会ですが、実際には皆様の生活に直結する様々な課題が真剣に議論されています。広報誌を通じて、そうした議会の「今」をすこ

しも身近に感じて頂ければ幸いです。

今後も「開かれた議会」を目指し、分かりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

これからも、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

武井 久司

議会広報特別委員会

委員長 中田拓也 副委員長 武井久司

委員 林 悦子・菊池伸浩

飯島洋省・軽部 徹

発行責任者 議長 風野 和視

次の定例会は

3月3日(火)

**10時開会予定です。
みなさまの傍聴を
お待ちしております。**

議会日誌

11月

- 5～6日 県西市議会議長会定例会
- 8日 筑西広域市町村圏事務組合
全員協議会
- 11日 茨城県市議会議長会
議員研修会
- 19日 筑西広域市町村圏事務組合
定例会

12月

- 2日 総務常任委員会
- 3日 文教厚生常任委員会
建設経済常任委員会
- 4日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 9～12日 第4回定例会
- 11日 総務常任委員会
文教厚生常任委員会

1月

- 15日 議会広報特別委員会
- 20日 ジオパーク6市議員連盟
協議会研修会
- 23日 茨城県市議会議長会定例会